

函館市医療・介護連携推進協議会 平成30年度第2回会議

日時：平成31年2月20日（水）19：00～

場所：総合保健センター 2階 健康教育室

【次第】

1 開 会

2 議 事

○ 報告事項

- (1) 函館市医療・介護連携支援センター業務報告
- (2) 平成31年度予算（案）

○ 協議事項

- (1) 平成31年度の事業内容について

3 その他

- (1) 災害時における負傷者等の情報伝達について
- (2) 次回協議会について

4 閉 会

【配布資料】

- 1 業務報告（平成30年度）
 - 1-2 相談統計
- 2 函館市医療・介護連携支援センター予算（案）
- 3 平成31年度函館市医療・介護連携支援センター事業内容
 - 3-2 平成31年度 多職種連携研修計画
- 4 災害時における負傷者等の情報伝達について

函館市医療・介護連携推進協議会 顧問・委員名簿

H31.1.31

(敬称略)

(顧 問)

分野	所属団体	職名	氏名	勤務先	平成30年度 第2回出欠
1	公益社団法人 函館市医師会	会 長	ホンマ サトシ 本間 哲	医療法人社団 本間眼科医院	出席
2	一般社団法人 函館歯科医師会	会 長	タジマ ヒサシ 田嶋 久士	たじま歯科医院	出席
3	一般社団法人 函館薬剤師会	会 長	クマカワ マサキ 熊川 雅樹	あおい薬局	出席
4	函館市病院局	局 長	ウジケ ヨシヒト 氏家 良人	函館市病院局	出席

(委 員)

(敬称略)

分野	所属団体	職名	氏名	勤務先	平成30年度 第2回出欠
1	公益社団法人 函館市医師会	副会長	オンムラ ヒロキ 恩村 宏樹	医療法人社団 恩村内科医院	出席
2	一般社団法人 函館歯科医師会	副会長	イワイ ユウジ 岩井 祐司	戸井歯科診療所	出席
3	一般社団法人 函館薬剤師会	常務理事	ミズエ ヒデミチ 水越 英通	はこだて調剤薬局 昭和店	出席
4	公益社団法人 北海道看護協会 道南南支部	支部長	クシマ ケイコ 九嶋 圭子	社会福祉法人 函館厚生院 介護老人保健施設ケンゆのかわ	出席
5	道南在宅ケア研究会	幹 事	オカダ シンゴ 岡田 晋吾	医療法人社団 守一会 北美原クリニック	出席
6	函館地域医療連携実務者協議会	世話人	カメヤ ヒロシ 亀谷 博志	社会福祉法人函館厚生院 函館中央病院	出席
7	一般社団法人 北海道医療ソーシャルワーカー協会 南支部	理 事	アラキ ヒデオ 荒木 英世	函館市病院局	出席
8	函館市居宅介護支援事業所連絡協議会	会 長	ワタベ ヨシヒト 渡部 良仁	居宅介護支援事業所 アニー	出席
9	函館市地域包括支援センター連絡協議会	会 長	マツノ ヨウ 松野 陽	函館市地域包括支援センターたかおか	出席
10	函館市訪問リハビリテーション連絡協議会		テラダ マサヒロ 寺田 昌弘	社会医療法人 仁生会 西堀病院	出席
11	道南訪問看護ステーション連絡協議会		ホサカ アケミ 保坂 明美	株式会社トラントユイット 訪問看護ステーション フレンズ	出席
12	道南地区老人福祉施設協議会	会 長	サイトウ タダフミ 齋藤 禎史	介護老人福祉施設シンフォニー	欠席
13	函館市保健福祉部	部 長	ヒライ ナオコ 平井 尚子	函館市	出席

(オブザーバー)

函館市医師会事務局 函館歯科医師会事務局 (欠席) 函館薬剤師会事務局 渡島総合振興局

(事務局等)

函館市保健福祉部 市立函館保健所 函館市医療・介護連携支援センター

1 業務報告（平成30年度）

情報共有ツール作業部会

回数	開催日	内 容
第8回	平成30年 10月18日(木)	(1)プルダウン式、フェイスシート版サマリーについて (2)サマリー説明会等の開催状況について (3)モニタリングの結果について (4)ICT研修について (5)はこだて医療・介護連携サマリー Q&A集について (6)今後のスケジュールについて
第9回	平成31年 2月12日(火)	(1)モニタリングの結果について (2)サマリー説明会について (3)ICT研修について (4)はこだて医療・介護連携サマリー Q&A集について (5)今後の展開について

多職種連携研修作業部会

回数	開催日	内 容
第8回	平成30年 9月3日(月)	(1)平成30年多職種連携研修計画の実施状況について (2)研修情報一元化と提供について (3)センターホームページ「コラム」の掲載について (4)第4回函館市医療・介護連携多職種研修会について
第9回	平成31年 2月15日(金)	(1)平成30年度 多職種連携研修計画 実施報告 (2)センターホームページ「コラム」の掲載について (3)研修情報一元化と提供について (4)平成31年度 多職種連携研修計画（案）について

連携ルール作業部会（退院支援分科会）

回数	開催日	内 容
第6回	平成31年 2月14日(木)	(1)はこだて入退院支援連携ガイドを活用した研修会報告 (2)はこだて入退院支援連携ガイドに係るアンケート調査報告 (3)はこだて入退院支援連携ガイド「別冊ガイド」作成の状況報告 (4)はこだて入退院支援連携ガイドの見直しについて

別記第2号様式

相談統計(平成30年4月～平成31年1月)

1 新規の相談

(1)相談内容別

(単位:件)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
退院支援・調整	6	9	8	7	5	5	4	4	2	1			51	5.1
日常の療養支援	16	14	10	8	10	10	12	21	14	10			125	12.5
急変時の対応	1	0	1	0	1	2	1	1	0	0			7	0.7
看取り	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0			2	0.2
その他	5	2	4	4	3	3	6	1	1	1			30	3.0
合計	28	25	23	19	19	21	23	28	17	12			215	21.5

(2)相談依頼者別

(単位:件)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
本人	4	2	1	1	2	3	0	5	1	2			21	2.1
家族	8	13	5	3	2	6	6	8	4	4			59	5.9
在宅医療機関(診療所)	3	0	1	0	1	1	1	1	3	0			11	1.1
在宅医療機関(病院)	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0			1	0.1
入院医療機関(診療所)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1			1	0.1
入院医療機関(病院)	4	5	7	5	4	2	7	4	3	1			42	4.2
医療機関(歯科)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0.0
薬局	1	0	0	0	0	0	0	1	1	0			3	0.3
地域包括支援センター	2	0	1	0	5	1	1	2	1	2			15	1.5
居宅介護支援事業所	2	3	2	4	2	5	3	3	1	1			26	2.6
訪問看護ステーション	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0			2	0.2
老人福祉施設	2	0	1	0	0	1	0	1	0	0			5	0.5
介護保険事業所	0	0	1	2	1	1	2	0	1	0			8	0.8
その他	2	2	3	3	2	1	3	3	1	1			21	2.1
合計	28	25	23	19	19	21	23	28	17	12			215	21.5

2 新規および継続の相談対応方法別

(単位:件)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
電話	37	26	33	27	30	51	31	30	36	24			325	32.5
訪問	0	1	3	2	4	0	0	0	0	0			10	1.0
来所	9	12	12	6	6	12	10	18	8	5			98	9.8
文書	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0.0
メール	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0			3	0.3
関係者協議	15	67	49	16	32	38	15	30	36	25			323	32.3
その他	0	0	1	0	0	0	0	0	6	6			13	1.3
合計(延べ人数)	62	106	98	52	72	101	56	79	86	60			772	77.2

函館市医療・介護連携支援センター予算（案）

【平成31年度】

	H31年度 予算要求額	H30年度 予算額	備 考
委託料	28,182,760	28,151,910	

科目	H31年度 予算要求額	H30年度 予算額	備 考
人件費	22,600,000	22,600,000	職員4名 人件費
謝礼金	60,000	60,000	研修会講師
旅 費	306,119	304,019	研修会講師
			職員研修会
需用費	448,776	433,551	消耗品
			燃料費
			印刷製本費
			光熱水費
			修繕費
役務費	468,720	467,940	郵送料
			電話料
			自動車損害保険料
委託料	251,200	248,400	医療・介護資源マップ [®] 保守管理等
使用料及び 賃借料	1,474,876	1,467,936	自動車リース料
			PC・複写機リース料
			複合機印刷使用料
			FAX使用料
			会場使用料
備品購入費	11,000	10,800	備品
小 計	25,620,691	25,592,646	
管理料	2,562,069	2,559,264	
合 計	28,182,760	28,151,910	

平成31年度 函館市医療・介護連携支援センター事業内容

事業項目	具体的な内容	協議・取組の所管
ア 地域の医療・介護の資源の把握		
○ 資源の情報収集	<ul style="list-style-type: none"> ・ 専門医, 認定看護師, 訪問栄養士等の把握 ・ 精神障がい者に対応する訪問看護や障がい者対応が可能な各事業所等の把握 ・ 収集した情報をホームページにて公開 	医療・介護連携支援センター
○ ホームページの充実	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「在宅医療・介護連携マップ」へ通所系・訪問系事業所の詳細情報を追加 ・ 在宅医療および介護に関する事業所やサービス内容の更新(2月) ・ H30医療・介護連携多職種研修会 講師の「看取り」をテーマにしたコラムをホームページに掲載 	
イ 医療・介護関係者の情報共有の支援		
○ 「はこだて医療・介護連携サマリー」の周知, 利用促進	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各職能団体へのアプローチ(12団体×2回) ・ サマリーの活用方法に特化した医療・介護関係者向けの研修会の企画・実施 	情報共有ツール作業部会
○ 「はこだて医療・介護連携サマリー」のモニタリング, 更新	<ul style="list-style-type: none"> ・ サマリーについてのアンケート調査を年2回(7月, 1月)実施・分析し, 部会においてサマリーの更新を検討 	
○ 各種マニュアルの整備・更新	<ul style="list-style-type: none"> ・ サマリーQ&Aの充実更新・ホームページに掲載 ・ 各種マニュアルの更新 ・ サマリー修正後, 必要に応じて更新 	
○ ICT活用に向けての取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ ICTの活用に向けた情報収集 ・ 市内の医療機関や介護事業所の導入事例をもとにした部会メンバーへの研修会の開催および国の動向把握 	
ウ 医療・介護連携に関する相談支援		
○ センター職員の相談スキルの向上(研修会等への参加)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 退院支援等の実際の現場に参加する機会を持つ等, 実践力向上の取り組み ・ 相談支援のスキルの向上に繋がる各種研修会への参加(道南医学会, 北海道病院学会, 相談員研修等) 	医療・介護連携支援センター
○ 相談対応の標準化 (センター内での相談内容の共有, マニュアルの更新等)	<ul style="list-style-type: none"> ・ センター内で使用する相談対応マニュアル, フローの更新 ・ センター内での相談内容の共有・振り返りによる相談対応の標準化 	
エ 市民への普及啓発		
○ 医療・介護連携支援センターの取組みに関する周知活動	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者大学や町会, 老人福祉センターへの出前講座等の実施および各種イベントへの参画 ・ センターのリーフレット配布 	医療・介護連携支援センター

オ 医療・介護関係者の研修		
○ 研修会の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・相互理解，連携強化，多職種連携の専門性の向上を目的とした各種研修会の企画・実施 ・人材育成を目的とした各種研修会への教員・学生の参加促進（詳細は資料3-2を参照） ・次年度の研修計画素案を作成し，部会で協議・確定 	多職種連携研修作業部会
○ 研修情報の一元化	<ul style="list-style-type: none"> ・各職能団体から研修情報を収集し，ホームページへ掲載（毎月） 	
○ 研修会のコーディネート等	<ul style="list-style-type: none"> ・関係者が研修開催を希望する場合に講師を紹介する等のコーディネートを実施 	
○ 医療・介護関係者への医療・介護連携支援センターの取り組みの周知（「顔の見える関係」の構築）	<ul style="list-style-type: none"> ・地域包括支援センターとの協働による地域ケア会議・事例検討会への参加 ・道南医学会での演題発表 ・道南地域でのセンターの取り組みを広げる活動 ・新設の医療機関や介護事業所へのセンターの周知 	
カ 切れ目のない医療・介護の提供体制の構築		
○ 入退院支援	<ul style="list-style-type: none"> ・「はこだて入退院支援連携ガイド」のアンケート調査を年1回（12月）実施・分析し分科会において協議 ・ガイドの利用促進のため，各職能団体へアプローチ（12団体×2回） ・センター主催の研修会等において医療・介護関係者へガイドをPR ・ガイドを活用した研修会の開催 ・施設訪問時等においてガイドを周知 ・在宅看取り・在宅療養についての別冊ガイドの作成 	退院支援分科会
○ 急変時対応	<ul style="list-style-type: none"> ・急変時対応空床情報システムの利用状況を把握し検証を行い，必要に応じて実務者と協議 ・急変時対応システムデータの管理・更新作業（毎週） ・介護施設の急変時対応の現状と課題を把握し，課題解決に向けた研修会や出前講座等を開催 ・市民および介護関係者への急変時対応シートの周知 ・消防本部との意見交換による急変時対応シートの更新検討 	急変時対応分科会 （急変時対応実務者会議）
○ 看取り	<ul style="list-style-type: none"> ・H27年度に実施した施設看取りに関するアンケートの分析および施設訪問により抽出された課題や好取組事例をもとに，事例報告形式の研修会等の開催 ・H27年度に実施した在宅看取りに関するアンケートの分析 ・在宅看取りに関する追加アンケートを実施・分析およびヒアリング等を行い，課題を把握し対応策を検討 ・MOPN（南渡島地域包括緩和ケアネットワーク）が開催する講演会等への参加 ・リビングウィル，ACP（アドバンス・ケア・プランニング）の研究 	医療・介護連携支援センター

【平成31年度多職種連携研修計画】（素案）

目的（テーマ）	内容	形式				定員	時期
		規模（会場）	形態	対象者	レベル		
(1) 相互理解の促進	① 医療関係者向け研修 『介護サービスについて』 講師：未定	中規模	座学講義	医療関係者	初級～中級	100名程度	5月 8月 2月
	② 介護関係者向け研修 『高齢者の医療機関への受診について』 講師：未定	中規模 (テレシアター)	座学講義	介護関係者	初級～中級	100名程度	5月 8月 2月
	③ オープンカンファレンス 『多職種による症例の振り返りと共有』	中規模	対話体験（事例報告）	医療・介護関係者	初級～上級	100名程度	随時
	④ 研修会コーディネート	※4月に各職能団体に意向を調査し、コーディネートする					
(2) 連携強化	⑤ 看取り 1) 大規模研修会 『それぞれの場所での多職種による看取りの実際』 2) 施設看取りへの支援 『施設等での看取りケアの好取組事例報告』	大規模 (国際ホテル) 中規模 (テレシアター)	対話体験（シンポジウム・GW） 座学講義	混合 介護関係者	中級～上級 中級～上級	300名以上 100名程度	11月30日 9月予定
	⑥ 入退院支援 「はこだて入退院支援連携ガイド」活用促進 「はこだて医療・介護連携サマリー」活用促進 ※各団体・各機関との共催 ※退院支援分科会・情報共有ツール作業部会との協働	小規模	対話体験（事例検討・GW）	実務者	中級～上級	30名程度	未定
	⑦ 急変時対応 『高齢者の急変から病院受診（救急搬送）の事例報告』	中規模	対話体験（シンポジウム）	医療・介護関係者	中級～上級	100名程度	3月予定
	(3) 多職種連携の 専門性の向上	⑧ 函館市における多職種連携への理解の促進 ※各団体・各機関との共催 ※出前講座メニュー	小規模	座学講義 講師：センター職員	医療・介護関係者	初級～中級	30名程度
(4) 人材育成	⑨ センター主催研修会への見学参加 ※各医療・介護系の学校への案内	随時	見学・座学講義	医療・介護学生 (教員)	未経験者	数名	随時

災害時における負傷者等の情報伝達について

1 経過

前回、30年度第1回会議において、災害時に医療機関が自施設の被災状況などを入力し、関係機関に情報伝達するEMIS（イーミス）のシステムと同様に、社会福祉施設等においても情報集約し医療につなげる方法について話題となった。

2 検討結果

会議後、市立函館病院 武山救命救急センター長と市保健福祉部などと検討し、現状の仕組みを活用し、次のとおり取り扱うこととする。

1) 現状、災害発生後の対応として、市が定める地域防災計画に基づき、社会福祉施設等の被災情報を確認する業務がある。この確認業務において、収集する情報は次のとおりとなっている。

- ・基本情報：「施設種別」「施設名」「電話番号、緊急連絡先、メールアドレス」「住所」「入所者数」
- ・被害情報：「連絡確認の有無」「人的被害の状況」「建物被害の状況」「入所者の他施設への避難の有無」「情報元（施設担当者）」

2) EMISの項目に準じて、次の項目を追加する。

項目	記載内容	記載にあたっての説明
負傷者の発生数	人数	発災に起因する負傷者数
負傷者の状況	重症度	重症、中等症、軽症
協力医療機関等との連携・対応	可・否	事前に定めている施設の協力医療機関やかかりつけ医による応急処置の可否
搬送が必要な入所者の状況	重症度別の患者数	重症、中等症、人工呼吸、酸素、担送、護送
その他	自由記述	上記、項目以外に伝達したい情報や、特記事項

3) 医療との連携

収集した情報について、市総務部・保健福祉部・保健所・消防本部・病院局、函館市医師会などと情報共有し、必要に応じて負傷者の搬送・受入調整を行う。